

2025年 社友会関西支部 新年会報告

開催日時：2025年1月29日（水）11：30～13：30

会 場：大阪凌霜クラブ

参加人数：会員 21 名（うち女性会員 2 名）

<新年例会の様様>

1. 冒頭司会進行役の横山副支部長の挨拶でスタート



2. 山田幹事の先導で「一月一日」を唱和

3. 横山副支部長より、今期支部役員の紹介があり、全員留任、変更なしと報告される。
また、「長寿の祝い」として米寿 4 名、喜寿 12 名の氏名発表があり、米寿を代表して岩井さんが、喜寿を代表して、横山副支部長が、水野支部長より、記念品贈呈があり、その後、岩井さんより、乾杯の辞と答礼のご挨拶をお願いした。



4. 水野支部長の挨拶は以下の通り

- ①他の支部は幹事の交代が多いが、関西支部は変更なく現体制で臨むので会員のご

- 支援ご協力を要望。自身も 80 歳となり今期を最後として頑張りたいと表明された。
- ②昨年度行事への参加者が多数に上り感謝する。また効率的な予算消化ができたとも。
 - ③「あれから 80 年」終戦から 80 年が経過する年に当たり、戦争の悲惨さ、平和の尊さを実感していると。
支部会員の平均年齢が 80.3 歳に達し、数年後の支部の存続に不安もあるが支部の名が消えないよう願っていると
 - ④「あれから 30 年」阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件 自分は結婚 50 年
 - ⑤今年の話は 4 月 13 日開幕の「大阪・関西万博」2,820 万人来場、2.9 兆円の経済効果と本部との交流が活発化 市川会長、新留幹事（今期副会長）が昨年 12 月の忘年会に出席いただく。
竹村副会長は全国大会の委員長に決定 本部は各支部との交流を図る予定 関西は中部との交流を検討。
 - ⑥200 回達成の「史跡散策の会」昨 12 月 19 日に 200 回達成記念祝賀会開催。 2010 年 5 月高さん以下 3 名で発足、15 年間 200 回で延べ 1,500 名の参加。大変な偉業だと絶賛されている。
 - ⑦支部役員は若き葛野事務局長の下、年寄り幹事たちが一致団結して皆さんに感謝されるよう頑張りたい決意表明あり。なお、中部支部は金井新支部長に加えて女性幹事 3 名が就任、大幅に刷新されたとのこと最後に会員諸氏の健康とご多幸を祈ると締めくくられた。

5. 葛野事務局長より連絡事項が伝達された。

- ①年間予定の往復ハガキを廃止したこと。メールアドレス設定への協力要請。LINE ネットワークへの協力お願い。
- ②全国大会が 6 月 12 日開催される旨の報告があり、参加の要請があった。
- ③支部存続のための具体的方針を説明
 - ・内容の充実・同好会活動の活発化・旅行会今期は「明石海峡大橋と舞子ピラ食事会」を 5 月 22 日か 27 日に開催予定、大橋の最高地点（299m）に登頂する。
 - ・女性幹事の勧誘・未加入者勧誘、広島女子会、高松会、神戸事業所会等の開催

6. 嶋川販売企画課長の講演



来賓 出光興産 嶋川課長ご挨拶

- ① 嶋川販売企画課長略歴：西宮市出身、03年昭和シェルへ入社、東北支店、中部支店で6年間営業職と企画課を経験、本社異動で営業企画部、DLR課、19年統合時は販売部、22年関西支店へ。
- ② 木藤社長（出光興産社長）の年頭挨拶についてのコメント及びトピックス他。
 - ・既存事業／サプライチェーンの収益最大化
 - ・カーボンニュートラルへの挑戦
 - ・経営陣と従業員のベクトル合わせ
- ③ トピックス
 - ・アグロ・カネショウをTOB、農業部門への進出
 - ・トヨタとの全固体電池、昨年10月より設計開始
 - ・地域社会への貢献として次の通り モビリティサービス、種子島でのカーボンニュートラルへの取り組み、シニア向けヘルスケア事業、エネルギーの地産地消など
- ④ 社員会への全員加入 役員以外は全員加入、労組ではなく団体交渉権はナシ
- ⑤ ROE 10%実現に向けての活動開始
- ⑥ CNX（カーボンニュートラル）への取り組み 3油種で導入、バイオ3%入りガソリン発売、B5軽油は70円高いがゼネコンが購入
- ⑦ 馴染みの「ペトロスター関西」が7月に経営統合し、「出光リテール販売関西カンパニー、同兵庫・四国カンパニー」となる

7.岩井さんの米寿記念への答礼挨拶と乾杯の発声

今日まで元気で来られたのもまずは親に感謝 欲を出さず程ほどの精神が大切だと。。

モットーは「謙虚、正直、真面目、はんなり」

最後に「88歳、何がめでたい。ほっといてくれ」とも。



8.懇親会の中締めは前支部長の西田さんから

関西支部のモットーである「明るく楽しく元気よく」で一年を乗り切ろうと会員に激を飛ばし、一本締めでお開きとなりました。

会員交流



会員交流



写真：山田

文責：山口